

ひとよし 市議会だより

第108号



2021 / 令和3年5月1日 発行



肥薩線の復旧を待つ大畑駅

主な内容

- ② 3月定例会・2月臨時会報告
- ⑤ 表決が割れた議案と議員別表決
- ⑥～⑪ 市政の内容を問う
～一般質問に17名の議員が登壇～
- ⑫ 議会制度研究会報告

編集 議会報編集委員会

発行 人吉市議会
人吉市下城本町1578番地1
☎ 0966-22-2111
E-mail gikai@hitoyoshi.kumamoto.jp

市のホームページでもご覧になれます
URL <https://www.city.hitoyoshi.lg.jp/>

3月定例会報告

令和3年3月第2回定例会は3月2日から3月26日までの25日間開催しました。

令和3年度 一般会計予算 285億9,573万8千円 可決 (前年度比 127億529万5千円の増)

人事案件

固定資産評価審査委員会委員の選任に同意した方
多武 芳美 氏

前年度比が大幅に増額となっているのは、令和2年7月豪雨における過年災害復旧事業費及び新市庁舎建設事業費の増が主な要因です。

うち、豪雨災害関連予算は114億8,667万9千円となっています。



審議された議案等の議決結果

※ 表決が割れた議案については、5ページに記載しています。

番号	件名	議決結果	番号	件名	議決結果
議第4号	令和2年度 人吉市一般会計補正予算(第17号)	原案可決	議第27号	人吉市勤労青少年ホーム条例を廃止する条例の制定について	原案可決
議第5号	令和2年度 人吉市国民健康保険事業特別会計補正予算(第5号)	原案可決	議第28号	人吉市敬老祝金条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第6号	令和2年度 人吉市後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)	原案可決	議第29号	人吉市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第7号	令和2年度 人吉市介護保険特別会計補正予算(第5号)	原案可決	議第30号	人吉市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第8号	令和2年度 人吉市水道事業特別会計補正予算(第4号)	原案可決	議第31号	人吉市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第9号	令和2年度 人吉市公共下水道事業特別会計補正予算(第7号)	原案可決	議第32号	人吉市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第10号	令和2年度 人吉市工業用地造成事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決	議第33号	人吉市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第11号	令和3年度 人吉市一般会計予算	原案可決	議第34号	人吉市国営川辺川総合土地改良事業負担金等徴収条例の制定について	原案可決
議第12号	令和3年度 人吉球磨地域交通体系整備特別会計予算	原案可決	議第35号	人吉市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第13号	令和3年度 人吉市国民健康保険事業特別会計予算	原案可決	議第36号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	選任同意
議第14号	令和3年度 人吉市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	議第37号	令和2年度 人吉市一般会計補正予算(第18号)	原案可決
議第15号	令和3年度 人吉市介護保険特別会計予算	原案可決	議第38号	令和2年度 人吉市介護保険特別会計補正予算(第6号)	原案可決
議第16号	令和3年度 人吉市水道事業特別会計予算	原案可決	議第39号	令和2年度 人吉市水道事業特別会計補正予算(第5号)	原案可決
議第17号	令和3年度 人吉市公共下水道事業特別会計予算	原案可決	議第40号	令和2年度 人吉市公共下水道事業特別会計補正予算(第8号)	原案可決
議第18号	令和3年度 人吉市工業用地造成事業特別会計予算	原案可決	議第41号	人吉市国民健康保険条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第19号	人吉市奨学金給付条例の制定について	原案可決	議第42号	人吉市ほっとステーション九ちゃんクラブ条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第20号	人吉市奨学金基金条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	議第43号	人吉市新型コロナウイルス感染症経済対策資金利子補給等基金条例の制定について	原案可決
議第21号	人吉市奨学金貸与条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	議第44号	工事請負契約の締結について	原案可決
議第22号	人吉市奨学生選考委員会条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	議第45号	人吉市議会会議規則の一部を改正する規則	原案可決
議第23号	人吉市立学校施設の使用に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決			
議第24号	人吉市公民館条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決			
議第25号	人吉市コミュニティセンター条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決			
議第26号	人吉市体育施設条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決			

2月臨時会報告

令和3年2月15日の臨時会では、新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金等に関する専決予算1件と、復興まちづくり計画策定に関する一般会計補正予算1件及び下水道施設災害復旧工事に関する特別会計補正予算1件の合計3件を原案承認及び可決しました。

審議された議案等の議決結果

議第1号	専決処分の承認を求めることについて(令和2年度 人吉市一般会計補正予算(第15号))	原案承認
議第2号	令和2年度 人吉市一般会計補正予算(第16号)	原案可決
議第3号	令和2年度 人吉市公共下水道事業特別会計補正予算(第6号)	原案可決

総務文教委員会報告

●委員長 宮崎 保 ●副委員長 牛塚 孝浩
●委員 徳川 禎郁・犬童 利夫・本村 令斗・西 信八郎

人吉市奨学金給付条例制定及びこれに伴う関連の3条例改正を承認

経済的理由により修学困難な学生の学びを支えるため、貸与型奨学金制度に加え新たに「給付型奨学金制度」を創設するもので、給付金の原資は、現在運用している貸与型の奨学基金の一部の活用と、ふるさと納税等の寄附金を基金に編入するものです。

選考方法として、学力基準は、受給前に在学した学校での評定平均値、5段階評価で3.5以上の者又は特定の分野における能力が卓越している者で、学校長が推薦する者。また、この基準に達していなくても選考委員会の選考を経て教育委員会がふさわしいと認める者。

家計基準は、独立行政法人日本学生支援機構が示している「収入基準額」を判定の目安とする。生活保護・市民税非課税世帯を優先するもの。

申請は、在籍する学校を申請年度内に、卒業見込みか卒業後2年以内の者。

対象者と給付額は、高校・高専等入学者が、年10人以内で、一人あたり5万円、大学・短大・専門学校等入学者が、年5人以内で、一人あたり20万円、国公立・私立を問わない、入学時の一時金として1回のみとするもの。

併せて本条例に関連する3条例の文言の変更と追加が行われました。



文教施設の使用に関する4条例の一部を改正する条例を承認

令和2年7月豪雨災害の避難所利用の際に、国の支援で、空調機器が設置された学校施設・校区公民館・コミュニティセンター・スポーツパレスの冷暖房使用料を定めるものです。

勤労青少年ホーム条例を廃止する条例を承認

所期の目的は達成したものと判断し、廃止が決定されました。廃止後は他の市民と同様にコミュニティセンター事業等を利用していただくものです。

令和3年度 一般会計予算を賛成多数で承認

主なものは、町内等から要望の防犯灯120基分400万円、被災自治公民館再建支援事業3,450万円、仮本庁舎・西間別館、カルチャーパレス等施設管理運営費1億4,422万7千円、市庁舎本体工事に要する経費18億6,420万円、建設工事監理業務委託料2,065万円、機能別を含む消防団員559人分報酬1,600万円と消防団員退職報奨金1,259万円、田野・大塚地区及び村山公園仮設団地のスクールタクシー運行758万6千円などです。

社会教育施設の復旧についての要望

令和2年7月豪雨で被災した社会教育施設の復旧について、市民の方々から早期の再開を望む声を受け、出来るだけ早い復旧に取り組み、目途が立った時点で、速やかに議会や市民に報告するように執行部に対し委員会より強い要望を行いました。

厚生委員会報告

●委員長 高瀬 堅一 ●副委員長 松村 太
●委員 池田 芳隆・塩見 寿子・平田 清吉・井上 光浩

条例改正8件を承認

敬老祝金条例の改正について、これまでは、受給資格者からの申請書提出を受け、受給資格有無の審査後、支給決定となっていました。改正案では、あらかじめ受給対象者へ対象である旨を通知し、申請書の提出を受けて支給することになり、支給漏れを防ぐことができます。

人吉市介護保険条例の改正は、第一号被保険者の保険料の改定を行うための改正で、第7期と今回の第8期の介護保険料を比較すると全て減額の改定が行われております。

人吉市ほっとステーション九ちゃんクラブ条例の改正は、昨年の豪雨災害で施設が被災したため、施設の場所及び使用料等を変更するものです。

令和2年度 一般会計補正予算等を承認

国民健康保険事業・後期高齢者医療・介護保険・水道事業・公共下水道事業の各特別会計補正予算は、歳入歳出それぞれの決算見込み等による補正です。主に、昨年の豪雨災害の影響で、予算化していた事業の実施ができなくなり、翌年度に繰り越すものです。

新型コロナウイルスのワクチン接種に関する補正も多く提案され、委員から「ワクチン接種完了予定の時期は」との質疑があり、「令和4年2月28日までに終わるようにと国から指示が来ている」との答弁がありました。

令和3年度 一般会計予算・各特別会計予算を承認

予算内容は、通年の予算に加え、昨年の豪雨災害に対応するための事業費が計上されています。歳出予算として、地域支え合いセンター事務委託料5,404万円、市内保育園6か所及び広域保育園入所委託費6億894万8千円、認定こども園等10園の施設型給付費10億4,023万4千円、また、扶助費として中学3年生までの児童に対する子ども医療費、児童手当等5億9,838万8千円等が計上されています。

前年度比で最も増額した費目は、^{じんかい}塵芥処理費43億4,439万円です。増額の主なものは委託料で、一般廃棄物収集運搬委託料1億249万3千円、災害廃棄物仮置場管理・運営等委託料42億4,069万7千円の計上があり、前年度比で42億4,189万7千円の増額となっています。

経済建設委員会報告

●委員長 宮原 将志 ●副委員長 田中 哲
●委員 西 洋子・豊永 貞夫・福屋 法晴・大塚 則男

令和2年度 一般会計補正予算を承認

経済部の主なものは、人吉しごとサポートセンターの新センター長選考のための公募に伴う「起業創業・中小企業支援センター長公募業務委託料」。地域独自の決済で使用するデジタル地域通貨を流通させることにより、「お金」の地域外流出防止や、地域内循環のしくみを創出する「地域デジタル通貨構築業務委託料」です。

建設部の主なものは、「下林北願成寺線道路補修工事（願成寺町工区）」です。

人吉しごとサポートセンターの新センター長公募について委員から、「成果が出ていないので、センター長の交代ということであるが、今後も成果が出なければどうするのか」との質疑があり、市長から、「予算を提案する者としては、そこは覚悟を持って提案している。私の残された任期もあと2年ということで、そこは一区切りになろうかと考えている」との答弁がありました。



補修が行われる市道下林北願成寺線

令和3年度 一般会計予算を承認

経済部の主なものは、令和2年7月豪雨災害時に、利用権設定していた農地が被災し、新たに被災して

いない農地を賃借契約した場合に補助をする「農地等被災農業者生活支援事業補助金」。

都市圏におけるサテライトオフィスのPRや、社会人の学びの場である「ひとよしくま熱中小学校」を通じた人材育成と関係人口の創出等を委託する「IT企業等協創促進業務委託料」。

建設部の主なものは、新庁舎建設に係る道路改築工事、公営住宅ストック総合改善事業で取り組む「鶴田団地5・6・7号棟給水設備改修」や「原城団地外壁改修」、及び鶴田団地防鳥ネット設置工事。

災害復旧費関係の主なものは、農地、農業用施設等の災害復旧工事費。令和2年7月豪雨により被災した「布の滝遊歩道災害復旧工事」及び「鹿目の滝遊歩道災害復旧工事」です。

農地、農業用施設等の災害復旧工事に関して委員から、「年度内に完了しない場合は、次年度に持ち越しになるのか」との質疑に、「災害復旧については3年間を見込んでいる。優先順位を決め、できるだけ早目に着工していきたい」との答弁がありました。



被災した鹿目の滝遊歩道

新市庁舎建設に関する特別委員会報告

●委員長 福屋 法晴 ●副委員長 豊永 貞夫 ●委員 全議員

防災行政無線等の移設工事について

令和4年度に防災行政無線等の次の3つを新庁舎に移設するとの説明を受けました。

- 1 人吉市防災行政無線の親局機器を、西間別館から移設。
- 2 熊本県と人吉市を結ぶネットワークで、熊本県防災情報ネットワークシステムをカルチャーパレスから移設。
- 3 J-ALERTシステム（全国瞬時警報システム）を西間別館から移設。

今後見込まれる事業について

屋外附帯工事として、駐車場・緑地帯・通路・側溝など外構整備が行われます。

什器整備事業では、机・椅子等の備品が整備されますが、既存什器を活用し事業費の圧縮が検討されています。

〔仮称〕市道19号線（青井西間線）改良工事では、新市庁舎へ進入するための右折レーン設置と、それに伴い支障となる電柱移設などが行われます。

令和4年6月供用開始に向け、庁舎建設と並行し、

庁舎等情報システム設備のネットワーク構築事業などが行われます。

継続費の変更について

数年間にわたる市庁舎建設事業では、あらかじめ事業費の総額を決め、各年度の支出年割額を設定して事業費を管理しています。

駐車場整備工事は、市庁舎建設本体工事が完了し、工事関係プレハブ事務所を撤去後、令和4年度に工事をする必要があるため、継続費の設定年度を令和3年度から令和4年度に延長し、年割額を変更するとの説明がありました。

新市庁舎における維持管理費について

清掃業務委託費、建築・衛生維持管理費（建築物定期報告・環境衛生維持管理、外構植栽剪定業務等）、施設保守点検費（昇降機・自動ドア等）、設備保守点検費（機械警備、受変電設備、空調設備等）などが必要で、現段階での試算では、年間約6,350万円掛かるとのことでした。今後さらに精査が行われます。

治水・防災に関する特別委員会

●委員長 田中 哲

●副委員長 池田 芳隆

●委員 全議員

第4回目となる本委員会を、令和3年3月3日に開催し、次の3点を審議事項としました。

- 1 前期「治水・防災に関する特別委員会」の経過及び概要について
- 2 治水・防災に関する特別委員会の目的及び調査内容について
- 3 その他について

審議事項1の前期「治水・防災に関する特別委員会」の経過及び概要では、前期の平成27年7月2日の(第1回)より、平成31年2月27日の(第18回)について事務局より説明がありました。

審議事項2の治水・防災に関する特別委員会の目的及び調査内容については、目的を、球磨川水系の治水・災害対策及び広域的災害の防災対策に関する諸問題の調査を目的とすることとしました。また調査内容は次の5項目です。

- 1 球磨川水系の治水対策について
 - ①球磨川水系の治水計画
 - ②球磨川水系の治水工事の進捗状況
 - ③県管理河川の治水計画
 - ④県管理河川の治水工事の進捗状況

2 球磨川流域治水協議会について

- ①球磨川流域治水協議会における審議内容(状況報告)

3 球磨川水系の防災対策について(危機管理)

- ①国、県及び関係機関との連携体制
- ②災害に関する情報の伝達方法及び広報手段
- ③避難誘導等システムの構築
- ④マルチハザードタイムライン(事前防災行動計画)
- ⑤球磨川水系防災・減災ソフト対策等補助事業
- ⑥その他減災への取り組み

4 広域的災害の防災対策について

- ①土砂災害危険地域の調査
- ②人吉市周辺の直下型地震等の情報収集
- ③山地災害(治山事業)の情報収集

5 関係機関との意見・情報交換

また、委員から令和2年7月豪雨災害について、時間を取っての検証や、国・県から治水関係の説明をいただきたいとの意見がありました。

審議事項3、その他では、令和2年7月4日の豪雨災害時の市内の映像を視聴し、執行部より説明を受けました。

令和3年3月定例会の請願・陳情等の議決結果

付託委員会	件名	議決結果
経済建設委員会	人吉市における分煙環境整備に関する陳情書	趣旨採択
経済建設委員会	新型コロナウイルス感染症対策による熊本県時短営業要請によって売り上げに影響を受けた事業者に対する救済を求める陳情	継続審査

議員別表決 「表決が割れた」議案とその議員別表決

賛否が分かれたもののみを掲載しております。

議案番号	議案	議員氏名																		
		松村 太	徳川 禎郁	池田 芳隆	牛塚 孝浩	西 洋子	宮原 将志	塩見 寿子	高瀬 堅一	宮崎 保	平田 清吉	犬童 利夫	井上 光浩	豊永 貞夫	福屋 法晴	本村 令斗	田中 哲	大塚 則男	西 信八郎	
議第11号	令和3年度 人吉市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○：議案に対して賛成 ●：議案に対して反対 /：議長は表決に加わりません

お詫びと訂正

ひとよし市議会だより第107号で掲載いたしました11月27日臨時会の「表決が割れた」議案と議員別表決(P11)において、一部誤りがありました。

宮崎保議員が議第122号から議第126号と議第130号に対して賛否の表示「○」と掲載してありましたが、当日は欠席されており、正しくは「欠」です。お詫びして訂正いたします。





一般質問

～市政の内容を問う～

一般質問とは、年4回行われる定例会で、議員が市に対して政策の見直しや新たな政策を提言する議員の重要な活動の一つです。

3月定例会では、3月10日から12日までの3日間で17人の議員が登壇し、さまざまな視点から活発な議論が行われました。

その要旨を各議員が報告します。掲載は質問順としています。

各議員の項目にあるQRコードをスマートフォン等の専用アプリで読み取ると、一般質問の録画映像がご覧いただけます。

QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です

地域の歴史を生かしたまちづくりについて 他



徳川 禎郁



動画視聴

問 復興まちづくり計画の中で、景観条例に基づきまちなみづくりの取り組みを進めていくのか。

答 景観計画の対象区域内において再築をされる際は、届出が必要である旨を伝えている。

問 景観条例と併せて歴史まちづくり法に基づく取組の考えは。

答 景観形成活動に関する取組として景観計画に盛り込んでいる。

問 地域の歴史を生かしたまちづくりとして、指定・登録文化財ではないが、築50年を超えている家屋に対しての市長の考えは。

答 まちを代表する歴史的建造物が残され活用できれば復興にも大きな励みとなる。今後の課題として考えたい。

※その他、情報を取得しづらい方への意思疎通支援について質した。

豪雨後市税未納に対する督促対応について 他



井上 光浩



動画視聴

問 昨年の豪雨後、市税未納者へ督促状が年末に一括送付され督促手数料が生じている。条例で、やむを得ないと認める場合は督促手数料を徴収しないと定めているが、コロナ禍や豪雨被害はこれにあたるのでは。またどのような協議を行い判断したのか。

答 市民に混乱を与え心苦しく思う。やむを得ないとは郵便事故等で滞納処分が行われなかった場合を想定。判例や他自治体を参考に部内で検討し発送延期を7月に起案、市長決裁を受けた。

問 肥薩線の人吉―吉松間の不通で大野町や矢岳町の方々は代替交通手段がない。今後どのような手段を検討しているか。

答 関係各所と連携しながら移動手段の確保に引き続き努めたい。

引き続き努めたい。

日本遺産の活用状況と今後の推進について



池田 芳隆



動画視聴

問 日本遺産の保存の取組は。

答 地元との意見交換、歴史や文化財の知識、守り伝える心等の研修を実施した。教育分野でも、球磨中央高校生徒によるホームページ制作での情報発信等、官民挙げて振興策を行った。

問 日本遺産の推進は、人吉球磨観光地域づくり協議会がマネジメントすべきと考えるが。

答 協議会の規約で、「日本遺産に認定された人吉球磨地域の事業者、団体等との連携体制を構築し、地域資源を活かした事業を展開することにより、地域経済の活性化に寄与する」としている。協議会で日本遺産を活用した取組を推進していきたい。

※その他、いじめ問題等について質した。

被災した産業の再建を



本村 令斗



動画視聴

問 産業の再建には、観光業、酒造業、中心商店街の方の意見を十分に聞き、復興計画に反映させることが大切ではないか。

答 民間事業者が主役と認識しており、細やかに意見を伺いたい。

問 中心市街地は、緑に囲まれ歩いて楽しい街にしたいという共通の思いがある。その方向で力をつくすべきではないか。

答 進行中の取組を支援し、多種多様な方々の意見を聞き、中心市街地活性化に取り組みたい。

問 国交省は、「流域治水は、住民を含めたあらゆる関係者で行う」としている。住民説明会を行うよう求めるべきではないか。

答 国・県に、地域住民の方が理解していただけるような方策を講じるよう求めたい。

今後の災害復旧と不登校児童・生徒の現状



平田 清吉



動画視聴

問 災害復旧への今後の対応は。

答 復興計画に掲げる「球磨川と共に創るみんなが安心して住み続けられるまちづくり」を念頭に、市民が「ここに残りたい、ここに住み続けたい」と思えるまちづくりと、しごとづくりに取り組んでいきたい。

問 本市における不登校児童・生徒の現状は。

答 今年度2月末日現在の不登校児童・生徒数は、小学校で12人、中学校で29人。過去では、平成28年度と29年度が27人、平成30年度が33人、令和元年度が37人であった。教育委員会では、子ども・子育て相談員、人吉っ子アドバイザー、かがやき教室等を設置して、可能な限り不登校児童・生徒の支援を行っている。



御溝川の安全対策について



福屋 法晴



動画視聴

問 御溝川の二次放水路工事の進捗状況と完成までの計画は。

答 平成31年3月より万江川合流地点から工事着手し、用地取得も全て完了している。現在、万江川合流地点の樋門、ボックスカルバート等の工事を行っており3月完成を目指している。また球磨川水系緊急治水対策プロジェクトの対策箇所第一段階に掲げられており、早期に事業完了できるよう鋭意努力する。

問 御溝川の土砂浚渫工事・護岸改善工事の状況は。

答 御溝川の堆積土砂撤去については、周辺環境や河川環境の配慮が必要であり、今後の進捗状況等を調査する。

※その他、コロナワクチン接種について、質問しました。

国道445号拡幅と西瀬橋復旧について



田中 哲



動画視聴

問 豪雨災害からの復興のシンボルの事業として、国道445号の拡幅を土地区画整理事業と併せたまちづくりの市長の考えは。

答 防災機能向上と、周辺の景観と調和した、にぎわいの空間づくりの観点から、住民の皆さんと対話を重ね、国や県の協力を頂きながら進めたい。益城町で行われた被災市街地復興特別措置法に基づく被災市街地復興推進地域の指定を受け、事業の効果が発現できるようにしたい。また、時間的緊迫性を持つてまの再興に向けて、先頭に立って全力で挑んでいく所存。

問 西瀬橋の復旧方法、架設位置並びに時期は。

答 国交省で検討中。市としても一日も早い復旧を要望していく。

西瀬コミセン復旧計画・危機管理監採用計画



牛塚 孝浩



動画視聴

問 西瀬コミセンについて、今後の具体的な再生計画は。

答 国の補助金を活用した原形復旧案を示しているが、移転新築対応ができないか、関連部署や国・県と協議を継続中である。

問 市長は、他の自治体同様、本市にも防災の専門家が必要だと表明したが、経緯と時期は。

答 近年多発する災害を受け、人的被害をゼロにするためにも、一歩踏み込んだ地域の防災監が必要と思った。発災時の迅速な対応のためにも、人材が見つかり次第採用したい。

※その他、小・中学校や通学路への防犯カメラ設置について、インフラの管理支援について及びコロナ禍での時短営業で影響を受けた関連事業者への救済策を質した。

多目的広場の整備・歴史的建造物の保存は



宮崎 保



動画視聴

問 7月豪雨災害により西瀬コミセン裏の多目的広場の整備が必要となっている。必要な材料を支給できないか。また、簡易トイレの設置はできないか。

答 整地に必要な洗い砂等の提供は早期に対応していきたい。簡易トイレは学校や校区行事等で周辺駐車場の利用等もあるので、設置場所も含めて考えたい。

問 歴史的建造物で、被災した個人の住居数は。また、移転しても残すべきと聞いているが。

答 指定・登録文化財で個人の住居が3棟、店舗兼住居及び商業施設・法人所有が13棟。建物の保存は、歴史的遺産保護の観点からも重要。所有者が様々な観点から検討できるよう、情報提供することで支援していきたい。

新型コロナウイルスワクチン接種体制について



豊永 貞夫



動画視聴

問 今回の新型コロナウイルスワクチン接種に、タブレットを使用した「ワクチン接種記録システム」の稼働が予定されている。担当課の業務が増加すると思うが、人員配置は大丈夫なのか。

答 また、4月以降に転入転出される方や、住民票を本市に残して単身赴任される方への接種の通知、接種場所はどのようになるのか。

問 医療機関での接種後、接種券の情報を配布予定のタブレットで読み取りし、記録を集約していくことになる。詳細についてはまだ分かっているのか。住民票を異動せずに市外へ居住されている方は、居住地の役所に申し出ることで接種ができる。

答 ※公共料金のスマホ決済と、役所での押印廃止について質問した。

被災した農地の復旧について



塩見 寿子



動画視聴

問 田や畑が被災して、農作物は売り物にならず収入がなく、見舞金もない。そのような農家の方に農地の災害復旧工事の自己負担を求めるのは酷。自己負担分を市が出す考えはないか。

答 農地は個人の財産なので自己負担をお願いしたい。国の補助率が高くなるよう努力してきた。

問 山江村の場合、自己負担分2.9%の9割を村が出すので農家負担は0.29%で済む。負担感を減らすため市独自の見舞金か義援金の配分ができないか。

答 一部負担は生じるかもしれないが、農家の方に寄り添って全力で取り組んでいきたい。

問 ※その他、被災者支援（税の減免、医療費無料化の延長、仮設住宅）と風力発電について質問しました。

（9）





市街地の再建と支援策について



大塚 則男



動画視聴

問 被災された街なかの事業者に対して再建方法や今後の方向性など意向調査等をすべきではないのか。また、被災店舗の再建・再活性化に向け、市として最大限の支援を行うとされているが、具体的な支援策は。

答 被災証明書を申請された約950の事業者に対し、事業再建状況についての記名式アンケートを送付している。内容は再建の進捗状況や活用した資金、なりわい再建支援補助金の申請状況、そして再建に向け困っている事など。集計後、来年度以降の支援策を検討したい。再建の支障となる課題は様々で、課題解決に向けたサポートの重要性も認識している。国・県の支援を活用し対応していきたい。

田んぼダム・地下浸透ますの設置について 他



犬童 利夫



動画視聴

問 田んぼダムの設置については。令和3年度から4年度にかけて実証実験し、効果を検証する。水田の排水口に専用のせき板を設置し大雨時の雨水を貯留。河川への流れ込みを抑制するもの。

問 田んぼダムへの市長の考えは。

答 流域全体で取り組む治水。緑の流域治水を具現化、象徴するものと捉え、取組に期待する。

問 雨水地下浸透ますの設置地域と助成金制度の創設は。

答 市街地や浸水した地域を想定。事業を推進する場合は、有利な国庫補助金制度を活用したい。

問 中学校部活動改革は。

答 令和5年度以降、休日の部活動の段階的な地域移行として、休日の指導などを担う地域人材の確保など環境の整備が必要。

遊水地について



西 洋子



動画視聴

問 遊水地の候補地が示されたが選定の理由と、発表の時期は適正であったか。市長の見解は。

答 できるだけ河床勾配が緩やかで洪水調節容量を効果的に確保できる場所に計画したと県から説明を受けている。発表の時期は球磨川水系緊急治水対策プロジェクトが1月末に取りまとめられたので速やかに国・県・市と協議して示した。

問 大柿地区の集団移転と結び付けることはできなかつたのか。

答 移転の検討時は遊水地の候補地として具体化していなかった。

問 事前に議員へ周知しなかつたのはなぜか。

答 地権者と地域住民の皆様を念頭に置いて開催したが、知らせるべきだったと反省している。

ニューノーマル時代に対応する市政運営を



宮原 将志



動画視聴

問 スーパーシティ構想にかける市長の意気込みは。

答 未来型復興を実現するため、国に対して自ら先頭に立ち、本市のスーパーシティ構想が採択されるよう全力で取り組みたい。

問 ウイズコロナの中でも授業時数の確保が図れるよう、学校二期制の導入を検討しては。

答 二期制のメリットとデメリット等の情報を更に収集し、校長会と協議しながら、慎重に検討を進めていきたい。

問 消防団の組織再編について、どのように考えているのか。

答 団員数の確保とともに、部等の再編のほか管轄地域の見直しを検討する必要がある。令和3年度中には一定の方向性が示せるよう取り組んでいきたい。

復興に関するアンケートと教育復興基本計画



松村 太



動画視聴

問 市民アンケートの活用方法は。

答 調査票の回答内容を被災者台帳システムへ取り込み、庁内関係部署及び関係機関、人吉市地域支え合いセンターと連携し、生活再建につなげていきたい。

問 中学校運動部活動の社会体育移行についての考えは。

答 令和5年度以降、休日の部活動の指導、大会引率を段階的に地域に移行していく。中学校部活動は学校教育活動の一環であり、小学校部活動とは違うもの。働き方改革と共に進めたい。

問 第3次人吉市教育復興基本計画に基づく実施計画はあるのか。

答 実施計画の策定は考えていないが、客観的な根拠を重視した教育政策推進の視点を踏まえ各事業の指標の設定等に努めたい。

豪雨災害やふるさと納税について



高瀬 堅一



動画視聴

問 被災以来8か月が経過したが、「復旧復興は物理的面」に重きを置きがちでは。被災者及び関係者の「精神的な復旧復興」を見逃してはいないか。

答 被災者の、課題、悩みごと、困りごとは多岐にわたっている。この事に対し、さらに対策が必要と考えている。

問 今年度の約10億9千万円のふるさと納税は被災者への「お見舞金的要素」を含んでいると思う。被災者に還元できないか。

答 被災者の生活再建の段階に応じて様々な支援策を実施していくことになる。その過程で十分検討し予算に反映させたい。

※その他、「人吉ごとサポートセンターについて」「人吉市復興計画について」の質問を行った。

議 会 制 度

研 究 会

議会制度研究会では、社会情勢に対応できる議会制度・あり方について研究・検討を行っています。また、3つの部会を設けています。

委員長 大塚則男 副委員長 本村令斗
委員 全議員

○議会報告会及び意見交換会に関する部会

部会長 井上光浩
副部会長 塩見寿子
部会員 高瀬堅一、田中 哲、
大塚則男、西信八郎



○議会基本条例の制定に関する部会

部会長 犬童利夫
副部会長 本村令斗
部会員 池田芳隆、西 洋子、
宮崎 保、平田清吉



○議会のIT化(ペーパーレス化)に関する部会

部会長 福屋法晴
副部会長 宮原将志
部会員 松村 太、徳川禎郁、
牛塚孝浩、豊永貞夫



議員定数について

本研究会を3月22日に開催し、検討スケジュールについて協議しました。定数に関する議員アンケート、議員研修、市民との意見交換会又は市民アンケートを行うことを決定しました。

編集後記

市内小・中学校で入学式が行われ子ども達が希望を胸に登校していく姿が見られます。また、新型コロナウイルスも収束に至りませんが、ワクチン接種が医療従事者から始まり随時万人の態勢で進められています。コロナと共生をします。ニューノーマルな社会への早期転換を期待いたします。

復旧を待つ肥薩線大畑駅では、桜が今年も見事な花を咲かせ、大畑駅を愛する友の会の皆さんの毎月の清掃もあり素晴らしい景色でした。市内では、仮設商店街モゾカタウン・人吉復興コンテナマルシェが整備され賑わいが復活し、市では復興まちづくり計画の策定も進められ一歩一歩復興への足音が聞こえてくるようです。議会も復興へ向け後押ししてまいります。

写真・文責…西信八郎

次の定例会は
6月の予定です

【議会報編集委員会】 委員長／西 信八郎 副委員長／大塚 則男
委員／松村 太・池田 芳隆・宮原 将志・宮崎 保・本村 令斗・田中 哲